



石井病院

じんけいクリニック

Now Vol.125

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2018.8

石井病院 感染対策委員会勉強会「口腔ケアと感染」手指衛生強化週間結果発表

私たち院内感染対策委員会では今年度の目標に「患者様の安全な入院生活を守る」ことを掲げています。院内のRMT（リスクマネジメントチーム）が一丸となって院内感染対策に取り組み、各部署スタッフに対する意識向上と啓蒙活動に勤めています。その一環として第2回目となる「手指衛生の徹底により院内感染を予防する」ための取り組みとして手指衛生強化週間を行いました。

今年度の第1回院内感染対策委員会主催の勉強会を7月20日に行いました。テーマは「口腔ケアと感染」で、当院の歯科衛生士の岸本さんと言語聴覚士の赤松さんを講師として、全職員対象に講義と実技の形式で行い、実技では参加者が2人1組となり口腔内のストレッチを体験しました。講義では、感染予防と口腔ケアの関係性について学びました。

勉強会の後には、今回の手指衛生強化週間の結果発表を行いました。6/18～7/2までを手指衛生強化週間期間として、昨年度に引き続き2回目となる手指衛生強化週間を設け、その結果発表も行いました。期間や方法については、前年度と同様に各部署・個人戦で手指消毒剤の使用量を競いました。今回の総合的な結果は、前年度に比べ全体の使用量が減少していましたが、このことが感染症の罹患率にはつながっていないため、手指衛生は使用する必要なタイミングなどによるものもあり、使用量だけが全てではないこともわかりました。今後は使用量だけでなく適切な手指衛生ができていかなども、取り入れていくことなどの課題にもつながりました。「患者様の安全な入院生活を守る」ために今後もさまざまな工夫をしながら委員会活動に取り組んでいきたいと考えています。

今回は冬のインフルエンザの流行時期に第2回手指衛生強化週間を行うことを予定しています。石井病院に入院される患者様がさらに安心して過ごして頂けるように、今後も全職員一丸となって院内感染防止対策に取り組んでいきたいと思えます。



看護部 主任
こまつばら ふみこ
小松原 史子

手指衛生強化週間 結果発表

部署別	1位 3階病棟	2位 4階病棟	3位 2階病棟
個人別	1位 3階 川口 看護師	2位 3階 橋本 看護師	3位 3階 奥井 看護師

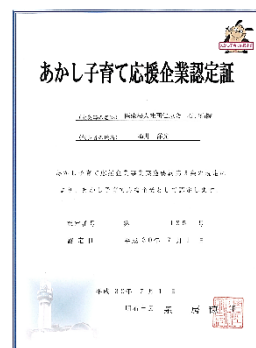


石井病院 「あかし子育て応援企業」に認定されました

明石市では、妊娠中や子育て中の方にやさしい取り組みを行っている市内の企業・法人等を「あかし子育て応援企業」として認定し、行政と企業が一体となって、まち全体で子育てを応援して行く取り組みを行っています。

当院はこの趣旨に賛同し、審査を経て「あかし子育て応援企業」に認定されました。当院が評価された主な取り組みについて、ご紹介させていただきます。

- ・産前・産後休暇の取得しやすい環境づくり
- ・育児休暇取得・延長時の対応環境整備
- ・院内保育所の活用
- ・小学1年就学時の短時間勤務への移行などライフバランスを考慮 等



石井病院に明石市の「移動図書館」がやってきます♪

7月より月に1回、当院に明石市の「移動図書館」が巡回することになりました。
ご利用対象者は、患者さま、ご家族さま、病院職員です。ご利用についての詳細は、
受付・ナースステーションに置いてあるリーフレットにてご確認ください。



日時： 8月17日(金) 14:10～14:55 雨天決行

場所： 仁恵会 研修センター 1F通路(石井病院 西隣)

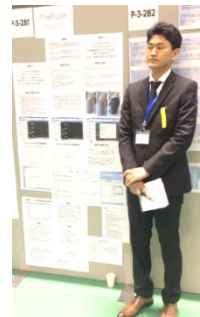
※ 1人15冊まで、返却は次回訪問日となります。



じんけいクリニック

職員が『平成30年度 第63回日本透析医学会学術集会・総会』にて、発表を行いました

6月28日～7月1日まで「日本透析医学会学術集会-総会」があり、参加及び発表の機会いただきました。今回は神戸が開催地ということもあり、兵庫県下の病院・クリニックが多数参加されていました。今学会は、「患者のためになる医療は何か」について議論され、日本の透析水準向上を目的とされていました。その中で、以前より当院で行われているフットケアの一環として、皮膚組織灌流圧測定(SPP)を題材として「当院のSPP検査の測定方法及び簡易ファイル変換方法について」を発表させていただきました。SPPを題材とした発表は、多数ありましたが当院で行っている方法を全国規模で、発表でき正確な値が出せ、よりよいフットケアを行えた事を伝えることができましたと思います。



(ポスター発表の様子)

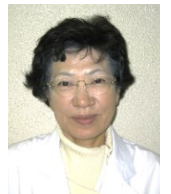


臨床工学技士
技士長

はら しんいちろう
原 真一郎

これからも、日本の透析水準向上、及び最新の情報を当院でも活用できるよう、アンテナを張り巡らせ日々研鑽していきます。これからも患者様の透析ライフを微力ながら支えていけるよう頑張ります。

透析患者さまが透析間の体重管理を良好に保つには、食事療法では塩分の制限と水分の制限が重要となります。しかし、患者さまは今までの食習慣から薄味でおいしく食べることができないことが多いと聞きます。患者さまは気を付けているにも関わらず、知らず知らずのうちに、今までの味付けで食事を摂ってしまい、1日の塩分量が多くなり調子を崩す方が多いようです。また、透析間の体重増加を気にするあまりに日々の食事を制限する人もいます。そうすると低栄養状態になり、これらもまた調子を悪くし、いわゆる「負のスパイラル」を起こしていきます。患者さまには薄味でおいしく食べることができる味覚を持つことが重要になります。多くの研究から、透析患者の味覚閾値は健康な人より高い(悪い)とされています。患者様が薄味でもおいしく食べられるようになれば、低栄養の回避につながり、毎日を元気で過ごせることができる(QOLの向上)と考えました。患者さまの味覚閾値を調べて、味覚閾値を不良にしている原因を調べることは重要な意味があります。前回の調査で透析間に食する食事を減塩食にすると味覚閾値が有意に改善することがわかりました。今回の調査では、患者さまの体内水分量を調べて、味覚不良になる原因がないかどうかを検討してみました。その結果、味覚不良の患者さまの味覚閾値と体内の浮腫み(体内水分均衡)とが関係しているようでした。この内容を先日の神戸での学会で発表させていただきました。



管理栄養士

いちはし
市橋 きくみ

いつも、患者さまにご協力をいただいていますことをこの場をお借りして、心よりお礼を申し上げます。今後、さらに詳しく調べて、患者さまの味覚の改善に役立てる方法をお知らせできればと考えています。

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 酒見 古門 上野

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>